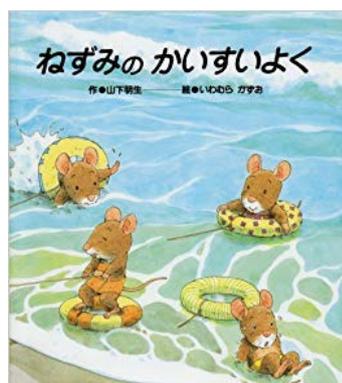


# 社会福祉法人 大分県福社会 滝尾保育園

## 入園ごあんない



## 施設概要

設置年月日	昭和43年11月 1日
利用定員	200名
敷地面積	1918.65㎡
建物	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 2階建て

## 沿革

昭和43年	11月	滝尾保育園認可 定員60名で発足
昭和45年	7月	園舎増築工事着工
昭和45年	10月	園舎増築工事施工
昭和45年	11月	定員90名に変更、認可
平成4年	9月	園舎改築工事着工
平成5年	3月	園舎改築工事施工
平成5年	4月	園舎改築落成式
平成7年	4月	延長保育、老人施設訪問交流事業開始
平成8年	4月	定員120名に変更
平成8年	8月	保育室一部増築工事施工
平成12年	11月	一部鉄骨造、2階建て 増築工事施工 2階保育室
平成27年	4月	利用定員140名に変更
平成28年	9月	園舎改築工事着工
平成29年	4月	利用定員170名に変更 一時預かり事業開始
平成29年	7月	園舎改築・改修落成
平成30年	4月	放課後児童支援事業「滝尾児童クラブ」開設
平成30年	11月	創立50周年
平成31年	3月	50周年式典（記念誌発行）
平成31年	4月	児童クラブ定員60名に変更
令和2年	4月	児童クラブ定員80名に変更
令和3年	4月	児童クラブ定員91名に変更
令和4年	4月	利用定員200名に変更

# 使 命

こども一人ひとりの最善の幸せを保障する

## 理念および基本方針

### 信頼と笑顔の滝尾保育

- ・子どもの人権や一人ひとりの個人差を尊重して保育します。
- ・子どもが自己発揮し、満足感を味わえるように保育の質の向上に努めます。
- ・保護者と子どもの成長を喜ぶ気持ちを共感し合い、信頼感を高めます。
- ・家庭や地域に向けた情報を発信します。

### 安全安心の滝尾保育園

- ・第二の家庭として、子どもが安心して過ごせる時間や環境を整えます。
- ・子どものありのままを受容し、応答的に、穏やかに接します。
- ・健康、安全、衛生管理に配慮するとともに、一人ひとりに合った食事を提供します。
- ・事故報告の共有や避難訓練の実施により、職員の危機管理意識を高めます。

### 地域と協働の滝尾保育園

- ・家庭や地域との関連を密にし、地域に根ざした保育センターを目指します
- ・多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て相談や家庭支援に努めます。
- ・地域行事への参加や施設運営への意見等、地域との連携を図ります。

### 自己実現できる滝尾保育園

- ・保育士は、自分の願いや意図をもって保育を実践し、改善努力をします。
- ・専門知識の他に、自らを高めるために趣味や読書、社会情勢等に関心を持ちます。

## 職 員

常勤職員 38名

(園長1, 副園長1, 主任2, 保育士27, 児童支援員1, 看護師2, 栄養士2, 調理師2)

非常勤職員 25名

(保育士20, 児童支援員1, 調理師3, 事務員1)

(外部講師: 英語・習字各1, 運動遊び)

嘱託医 2名 (内科及び歯科)

## 保育を通して育てたい5つの力

人のことばを聞く

学習能力とコミュニケーション能力

集中して取り組む力

生活のルールを通して社会のルールを理解し、守る力

良い人間関係を作る力

思いやり・やさしさ・譲り合い・がまん等

豊かな感性

優れた絵本や遊具・自然などの関わり



## 年間保育(行事)計画

4月	入園式・進級式 3歳以上児英語遊び開始	9月	老人施設交流会
5月	春の遠足 就学児習字教室開始 内科検診・歯科検診	10月	運動会・交通安全指導
6月	保育参観・さつま芋植え プール開き・交通安全指導	11月	秋の遠足・内科健診 歯科検診
7月	七夕祭り・お泊り保育(年長児) 老人施設交流会・夏祭り	12月	クリスマス会・老人施設交流 3歳未満児大きくなったねの会
8月	プール納め	1月	お正月あそび週間
		2月	豆まき・3歳以上児大きくなったね会
		3月	お別れ遠足・卒園式

## 月例行事

身体計測、避難消火訓練

防災安全点検、職員会議、職員研修会

## きまりとお願い

- ・ **開園時間**は、7：00～19：00（延長保育時間含）です。
- ・ **休園日**は、**日曜日、祝日、年末年始**です。
- ・ **病気や事故**などのために欠席する場合は、**9時**までに連絡をお願いします。
- ・ 嘱託医による内科検診は年2回、歯科検診も年2回実施します。
- ・ 服装は、清潔なものを着用しキャラクター物は控えましょう。園服はありません。半長袖の体操服は園指定のものがあいます。
- ・ 洗髪、入浴、爪切りなど、いつも気かけましょう。
- ・ 早寝、早起き、朝ご飯の習慣を守りましょう。
- ・ 登園したら必ず保育士に手渡し、家庭での様子や気になる事などお伝えください。
- ・ **病気連絡**について  
幼児は37.5°が発熱と考えられています。**38°以上ある時は一応連絡**をします。また、ぐったりしていたり下痢、吐き気などがある場合はお迎えをお願いすることがあります。

## 入園時に必要なもの

### ○常備しておいて使うもの

テーブル用布巾・雑巾・ティッシュペーパー・ビニール袋

### ○個人で使うもの

- ・ タオル・・・保育園に持参し部屋のタオル掛けに常備します。  
(毎日持って帰り、洗濯して毎日登園時に持ってくる。)  
また、タオル掛けに下げられるように紐をつけます。

・ 布団（掛け・敷）

・ 着替え

・ コップ



※各クラスによって内容は多少異なります

## 入園にあたって

- ・新入園児の集団生活に対する不安と緊張は、なみたいていではありません。できるだけ園生活に自然に慣れていくためにも、保育時間は最初は短く順次時間を延長して、正常の保育時間にしたいと思しますのでご協力ください。

子どもさんによって差がありますので、担任と相談しながら進めましょう。

目安としては、

登園から1・2時間

登園から昼食を食べるまで

登園からお昼寝後まで

登園からお迎えまで というように慣らし保育をします。

## その他

### ○保護者負担金について

保育料（負担金）は保育園で徴収し、市役所に納入します。

毎月20日前後に集金袋を配布しますので月末までに納入くださるようお願いいたします。

### ○転退園について

転居などで途中転園を希望される場合は早めにご相談ください。

また、ご事情で退園される場合も、あらかじめ早めにお伝えくださるようお願いいたします。

### ○園だより・クラスだよりについて

園だより、クラスだよりはアプリにより配信します。園の方針や諸連絡月間行事などお知らせします。子どもさんの保育園生活と家庭での生活が相互につながりを持つようご協力をおねがいします。

### ○献立表について

献立表をアプリで配信しますので、保育園での食事を知っていただき、ご家庭の食事・献立等の参考として活用くださるようお願いいたします。

### ○保健だよりについて

感染症や流行疾患等、健康についての情報をお知らせします。

### ○保育園に対するご質問・ご意見について

ご質問・ご意見等は、遠慮なく職員にお申し出ください。備え付けのホストをご利用いただいても結構です。福祉サービス運営委員会等の相談機関もあります。

滝尾保育園 〈 生活日課 〉

時 間		子 ども の 活 動	
時 間		時 間	
7:00	順次登園 7:00～3歳以上児（たんぼぼ組） 【以上児クラス】		3歳未満児（さくら組） 【未満児クラス】
8:30	クラスに移動 コーナー遊び	8:30	戸外遊び
9:00	朝の会		
9:15	戸外遊び 	9:30	室内へ 朝の会 コーナー遊び
10:15	室内へ コーナー遊び		☆給食前に絵本の毎日読み
11:00	☆給食前に絵本の毎日読み	うめ（0歳） 10:40～	担当グループ毎 グループが揃っ たら「いただきま す」
11:30	給食（3・4歳児）	1歳 10:50～	
12:00	給食（5歳児）	2歳 11:00～	
	給食が終わった子どもから順次午睡		給食が終わった子どもから順次午睡
13:00		13:00	
14:00		14:00	
15:00	おやつ	15:00	おやつ
16:00	終わったら絵本コーナーで待つ 帰りの会 戸外遊び ※園庭はどちらでも		終わったら絵本を見る 帰りの会 コーナー遊び
17:00			
17:30	3歳以上児（年齢毎）		3歳未満児（年齢毎）
18:00	延長保育 合同保育（さくら組）		
19:00	降園・施錠		

## 滝尾保育園の保育

滝尾保育園は第二の家庭でありたいと願っています。

雰囲気的に家庭的ということではなく

人間として生きる力を獲得していく教育的な環境という意味も含んでいます。

毎日の生活を通して大人の行動を模倣することで

生活のくみ立て方を知る。

人間に対する信頼感を獲得する。

そのためにも保育園は、よい環境を提供し、一人ひとりの子どもにしっかり目を向けて、発達を助けてあげることが大切に考えています。

### 【保育を通して育てたい5つの力】

1. 人のことばを聞く  
学習能力とコミュニケーション能力
2. 集中して取り組む力
3. 生活のルールを通して社会のルールを理解し、守る力
4. 良い人間関係を作る力  
思いやり・やさしさ・譲り合い・がまん等
5. 豊かな感性  
優れた絵本や遊具・自然などの関わり

### 【保育園の生活】

- ・室内遊び～子どもは室内遊びを通して集中力や思考力、観察力や記憶力、構成力や想像力を身に付けます。  
遊びのコーナーを作り遊びの場所を分けることで、自分で遊びたいものを見つけたり、遊びに集中したりすることができます。
- ・戸外遊び～子どもたちの体の発達を助けるために重要です。精神的にも開放され、身体能力を高め、何事にもチャレンジしていく精神を養ってくれます。  
また、2歳児以上のクラスは、毎日の日課を大切にする意味でも、雨の日も戸外で遊んだり散歩に出かけたりして雨の日にはしか出会えないものもたくさんあることを知ります。  
散歩に出かけて自然と触れ合うことにより小さな命と出会ったり、四季の変化を感じ楽しむことで季節感も育ってきますので、戸外での活動も大切にしています。
- ・行事 ～日常的な生活に変化や潤いを持たせる意味でとても大切です。  
生活行事として、お正月、ひな祭り、子どもの日、七夕等日本の伝統的なことも大切にしていきたいと思えます。  
保育行事は、運動会、大きくなったねの会、遠足、入園・進級式、卒園式等子どもの発達の節目に重要な役割を持っています。

- ・乳児保育～保育園は産休明けから子どもをお預かりしています。0歳児から2歳児までを乳児期、3歳児から5歳児までを幼児期とし、乳児期の保育は年齢別にクラスを構成し一人ひとりの発達をその子どもに合わせて援助していきけるように育児担当制を導入し、子どもたちが大人との関係を好ましいものとして感じられるように接していきます。

乳児期には一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、個々の子どもに合った関わり方を考え、自立を助けていくように心がけています。毎日の生活の中心になる「食べる」「眠る」「排泄する」ということに関して「規則正しく」「清潔」「より人間的なかかわり」を大切にし、いつも笑顔を忘れず援助していくことも大切に考えています。

また、この時期は、遊びを通して運動能力や手の機能の発達、初期の認識能力の発達などを無理なく行えるような環境を提供し、大人は子どもの遊びを助け、子どもに合った関わり方を常に意識するようにしています。
- ・幼児保育～3歳までに精神的な安定感や秩序が上手く育っていると、体や心、頭を十分に使った活動が活発になってきます。手や体を使う遊び、考える遊び想像力を豊かにする遊び、集中しルールを守って遊ぶ遊びなど、多くの遊びを通して人間として必要な大切な力を伸ばす時期です。社会性を身につけ、人間関係を作り、想像力や集中力など、遊びを通して身に付けていけるよう十分に遊べるための環境づくりをしていきます。
- ・大人（職員）の服装～保育園は子どもにとって第二の家庭であると考えています。

職員は体操服（ジャージ）ではなく、日常的な服装で子どもと接していくことを基本としています。食事の時には、清潔感を大切に考え、エプロンをつけるようにしています。
- ・子どもの服装～子どもは室内でも戸外でも十分遊ぶことを保育の基本としています。したがって、活動しやすい服装というのが原則です。特に制服は設けていませんが、体操服は揃えていただいています。保育園ではできるだけテレビの影響を受けない活動を目指していますので、保育園に来る時は、キャラクター物は控えていただければと思います。保育園で過ごす時間はテレビや商業的なもの以外にも、こんなに楽しいことがいっぱいあるという経験をしてもらいたいと願っています。
- ・絵本について～乳幼児期にどのような絵本体験をするかによって、読書の好きな大人になれるかどうか決まると思います。滝尾保育園の子ども達は絵本が大好きです。たくさんの良質な絵本に出会ってもらうために保育の中に、月間絵本の毎日読みを取り入れています。
- ・名前の呼び方～職員を原則「先生」という呼び方をしません。保育士は自分自身のことを「私」という言い方をします。

子どもたちの呼び方については、名前のうしろに「さん」「くん」「ちゃん」を付けて呼ぶようにしています。呼び捨てにはしません。

- ・生活日課～子どもが発達していくために、規則正しい生活の組立が必要です。  
リズムある生活を組み立てていくことで、自分の生活の流れを把握し、先を見通して自分で考え行動できる部分が多くなります。そのため、滝尾保育園では「日課のある保育」を行います。日課が安定していることで子どもは保育園生活に不安を抱くことが少なくなり、見通しを持って生活できるので主体的に行動できる部分が増えてきます。
- ・食 事 ～人間が生きていくうえでとても大切です。乳児期は「生きるために食べる」という時期と考え、集中して食べる、何でも食べる、しっかり食べることを目標とし、一人ひとりに丁寧に援助していくことで、食べることに喜びを持つ子どもになってほしいと考えます。0歳児は大人一人対こども一人の関係を大切にしながら、2～6人のグループで食べるように、徐々に移行していきます。3歳を過ぎたら集団としての食事ができるように、時間をかけてよりよい食事の習慣をつけていきます。  
幼児の食事に関しては、主食の補助がないため、各ご家庭で主食（ごはん）を持ってきていただいていたのですが、お米代を保護者に負担していただき、各部屋の炊飯器で毎日炊くことで良いにおいが充満し、子どもたちの食に対する意欲も益々高まってくると思います。また、季節の食材を使った混ぜご飯や炊き込みご飯を楽しめるようになります。  
食事の内容に関しては、調理のスタッフとも十分な話し合いを持ちながら国産のものを中心に、一汁二采の薄味を基本に、より充実させていきたいと思っています。

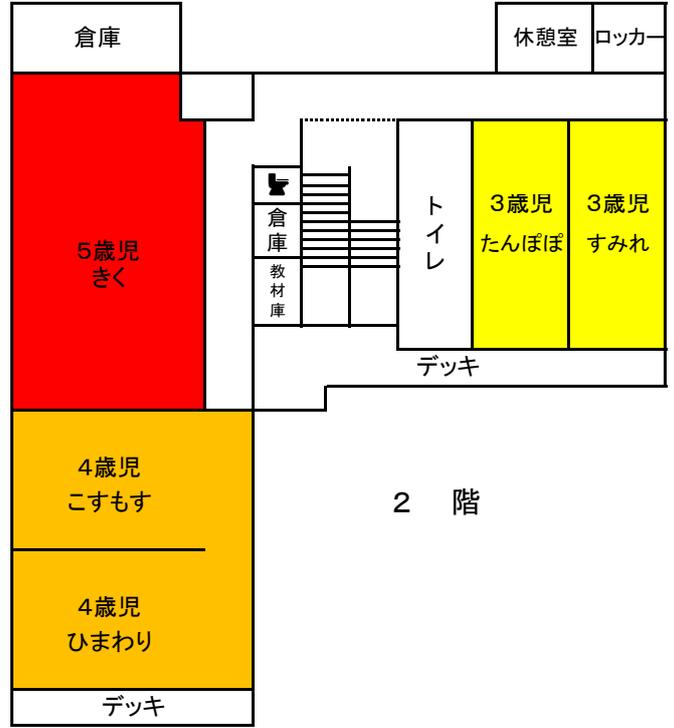
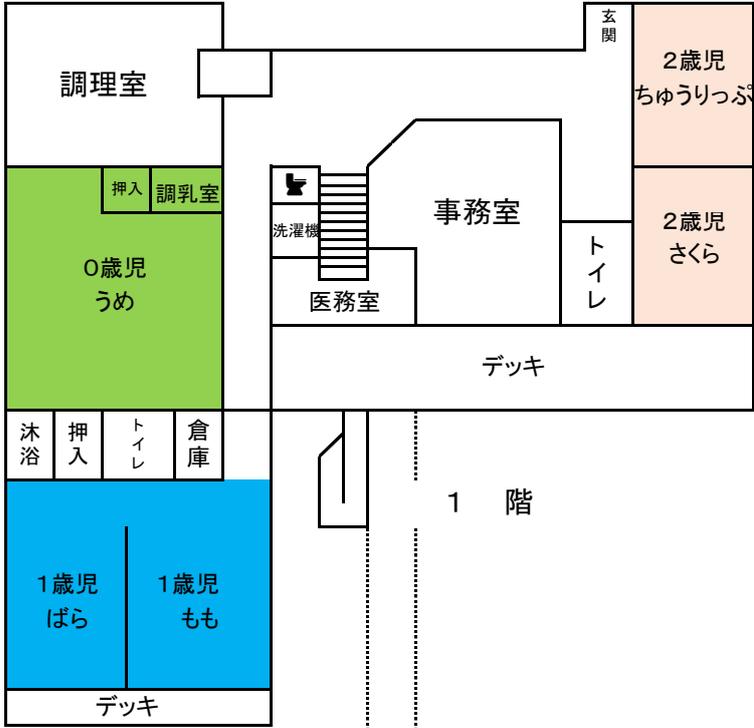
## 【保育園と家庭】

子どもたちにとって、どんなに良い保育園に通っていても、やはり家庭が一番です。保育者は親に代わることはできません。お子様をお預かりする以上、私たちは全力で保育に携わっていきます。家庭での子育てに関しての悩みや不安は、全ての親のもっている共通のものです。保育者も、常に現状に満足することなくさらにステップアップしていくための悩みを抱えています。子どもたちにとって良い「援助者」であるために、共に学べる場を作っていきたいと思っています。

子どもたちが保育園で日常、どのように過ごしているのかということはなかなかご覧になる機会が少ないと思いますので、いろいろと不安な方もおありかと思えます。わからないこと、気になること、聞きたいことなどあればいつでも声をかけてください。直接園長にでも結構ですし、担任を通してでも結構です。子どもたちが保育園で気持ちよく過ごせるために、大人同士のコミュニケーションはとても大切だと思っています。風通しのよい保育園にしたいというのが私たちの願いです。



# 滝尾保育園ご案内



南園舎

